

お知らせ

新型コロナウイルス対応のため当面の間、組合員活動を休止いたします。再開については、感染状況、参加人数、活動環境などを考慮して、個別に判断していきます。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



無料法律相談：13時～

7/1(水) 秩父民商事務所にて(☎23-8154) ※希望の方は各相談所へお申込みください。
8/5(水) 秩父生協病院にて (☎23-1300)

6月の診療体制のご案内 急きよ変更になる場合があります。【 】内は専門

診療受付時間		月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	内科	山田 昌樹 (院長)	吉野 隆之 *2 毎週 11 時~ もの忘れ外来 「予約制」	吉野 隆之	山田 昌樹 (院長)	山田 昌樹 (院長)	*1 6日:村岡・担当医 13日:吉野・担当医 20日:吉野・担当医 27日:村岡・担当医 *2 院長・吉野・村岡 医師は、総合診療 内科医です。 *3 土曜日の医師体制は輪 番制のため、急遽変更 となる場合があります。 予めご了承ください。
		村岡 雷太	市川 篤 【呼吸器】	村岡 雷太	中林 公正 【腎・リウマチ】	村岡 雷太	
		市川 篤 【呼吸器】 (第1・3・5)		野口 周一 【リハビリ】 (第1・3)	吉野 隆之	市川 篤 【呼吸器】	
(木:小児科) 9:30~12:00	小児科			藤田 映輝		山田 昌樹 (院長)	
午後(火のみ) 14:30~16:30	小児科・ 冷え性外来		横井 範子				
午後	*3 訪問診療	市川 篤 (第1・3・5)	市川 篤			市川 篤	
夜間 17:00~18:30	内科		村岡 雷太	吉野 隆之	山田 昌樹 (院長)		

※横井医師の漢方による冷え性外来を行なっています。ご希望の方は☎23-1300までお電話ください。

訪問診療も行なっています。 検査結果や薬の名前など用意しておきましょう。

※夜間・休日で受診やご相談がある場合はご連絡下さい。
※検査等できない場合は、他の医療機関に紹介させていただくこともございます。

入院時の差額ベッド代は
いたっておりません。

お宅までお迎えに伺う個別送迎を行っています。

利用を希望される方は、まずは受付までお電話ください。☎23-1300



医療、福祉にかかわらず、「困りごと」がありましたら、まずはお気軽に窓口へご相談下さい。 ※当院は無料低額診療事業を行なっております。


しあわせ

2020年
6月号
No.310

医療生協さいたま
秩父生協病院
〒368-0016 埼玉県秩父市阿保町1-11
☎0494-23-1300

秩父生協病院の理念

地域の人々とともに、利用者中心の安心・安全の
保健・医療・介護サービスを提供します。

インターネットでの情報は 
又は、<http://www.chichibu-ch.or.jp/> です。

訪問看護・訪問介護・ケアプランなど介護のご相談は

- 生協ちちぶケアステーション
秩父市阿保町1-11 ☎0494-22-9902
- 小規模多機能型居宅介護生協花の木ホーム
秩父市上町1-12-11 ☎0494-25-2000
- サテライトながとろ
長瀬町本野上780-1 ☎0494-69-2380

新型コロナウイルスとの闘い ~闘う相手は2つ~

緊急事態宣言の解除で新たな局面をむかえる新型コロナウイルス対応ですが、息の長い闘いとなるとの見方が大半となってきました。

この闘いは、相手が2つある闘いです。1つ目は当然ながらウイルスそのものの闘いです。

誰にでも感染の可能性がありますし、自覚症状が出る2日ほど前から感染力があることもわかってきました。「自分が感染しているかもしれない」という意識のもとに、一人ひとりが行動することがとても重要です。

長丁場になると不安やイライラも募りそうですが、電話で愚痴を話し合ったりしてつらさを分かち合いながら、これまで通りそれぞれがやるべきことをコツコツと続けていきましょう。

もうひとつの闘いは、不安・恐怖から出てくる人々の内なる悪(魔)との闘いです。

恐怖・危機感・イライラ・不安が募ると人間の性・本能的対応で、悪者探し・犯人探し・魔女狩りが始まります。人に感染したウイルスと闘うのはいいのですが、ウイルスに感染した人を敵とみなす空気、非難や排除の風潮が高まると、感染者は身を隠しウイルスの隠れ家をつくることになってしまいます。

私たちは自らの内側に潜む邪悪な心、非寛容な態度、非科学的な行動と闘わなくてはなりません。残念ながら感染者とその周辺の人に対する言われなき誹謗・中傷・差別は多く、大変な人権侵害が発生しています。まさに人類の叡智とそれぞれの人間性が試されているとも言えます。

新型コロナは地球全体に広がっていて、どの国も自国だけの問題ではなくなっています。

結末はまだ見えていませんが、そこへの道を選ぶのは私たちです。私たちが内なる悪に飲み込まれ差別や排除の道を探れば、感染者数以上の被害を出す大惨事となりますし、地球的な連帯や民主的に責任ある態度、科学を信じる道を選べば明るい未来を掴み取ることができるかもしれません。

有効な治療法・ワクチンが開発されない場合、終息に2~3年かかるとの見方もありますので、このような状況下でも日々の生活を楽しむ工夫が必要です。

ストレスがたまったら運動する、庭仕事をする、バランスよくしっかり食べる(コロナ太りには注意...)、十分な睡眠、不安が増すようなTVを消して音楽を聴くなど...

深呼吸しながら瞑想もいいかもしれません。ちちぶエフエムを聴くのもいいですね!

電話で耳から直接聴く声は心により響くとのこと。メールだけではなく電話で話すのも大切です。一日一日を大切に、知恵と力と心を寄せ合って乗り越えていきましょう。

今できることをコツコツと!



日常生活に様々な制限がかかりストレスがたまる状況ですが、めげずに過ごす各地域の組合員の様子を紹介します。



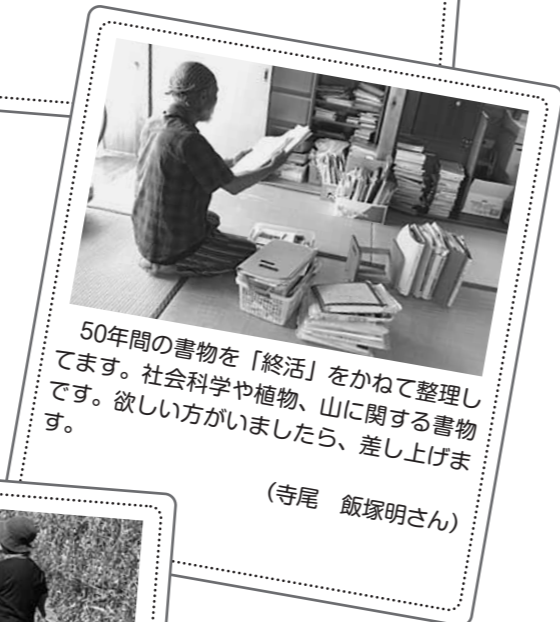
クラフトテープで孫たちといっしょに籠づくりをしました。
(山田 武藤圭子さん)



畑しごとに勤しんでいます。収穫したイチゴやルバーブでジャムを作りました。
(荒川 深田澄子さん)



普段は「ちくちく広場」として仲間数人が集まっておしゃべりしながらおこなっていますが、この時期は、3密をさけて、それぞれが自宅でマスクづくりをしています。この日はたまたま仲間一人が来て、別室に分かれてマスクづくりをしました。
(寺尾 飯塚公子さん)



50年間の書物を「終活」をかねて整理しています。社会科学や植物、山に関する書物です。欲しい方がいましたら、差し上げます。
(寺尾 飯塚明さん)



毎朝ウォーキングをしています。
(品沢 多比羅昌子さん)



学校が休みなので、1日中孫の面倒をみえています。今日はザリガニ釣り遊びをしました。
(近戸 原秀美さん)



町の防災無線で放送されるラジオ体操の曲にあわせて体操をしています。
(皆野 武田節子さん)

事業所トピック

病院では院内感染対策を進める体制整備が義務付けられていますが、秩父生協病院ではその役割は院内感染対策委員会が担っており、新型コロナ感染予防のためのとりくみも、この委員会を中心にすすめています。

感染予防に対する最新の情報をチェックしつつ、こまめに院内の巡視をし、気になるところがあれば対策をたてています。

建物の構造や人の動線の関係で、全てがマニュアル通りに出来るわけでもなく、対応に苦勞するところも多くありますが、倦まずたゆまず頑張っていきたいと思います。



病院の1階職員食堂です。以前は休憩時には、たくさんの方が集ってわいわいとにぎやかになる空間でしたが、感染対策委員会からの指摘があり、当面は利用は少人数でとなりました。食事中のおしゃべりは自粛です。

食事の時だけはマスクを外さざるをえないので、休憩は大小の会議室、各階のミーティングルームなどあちこちの部屋を使い、分散してとるようにしています。

食事しながらのおしゃべりは楽しみの一つでもありますが、しばらくは我慢…です。



マスクが最も不足していた時期に、通所リハビリ利用の方が、ご自分のマスクを用意できなかったことがありました。職員用のマスクも厳しい使用枚数制限を課している状況だったので対応に苦慮していたところ、足りない人全員にいきわたるだけの大量の手作りマスクの寄贈をいただき、本当に助かりました。



通所リハビリでも、みんなで大きな声で歌うのは中止にしたり集団リハビリも大きく距離をとったり…と様々な制限がかかっていて、さみしく感じる部分もありますが、全員でマスクをつけて手洗いをして、乗りきっていきたいと思います。



秩父生協病院の山田院長が、ちちぶエフエムで毎週木曜日の20時から放送している「人生いきいき いきあうラジオ」という番組に出演しました。

毎回、秩父地域で活躍する医療・介護分野の専門職が出演し、その時々ホットな話題について語る…という内容ですが、山田院長は前半では、新型コロナのもとでの暮らし方や心がまえについてお話をしました。さらに、今、特に問題になっている感染者に対する攻撃や誹謗中傷についてもとりあげ、「差別や排除を予防するワクチンを作ろう」と訴えました。

後半では、フレイルとその予防について「ちちぶお茶のみ体操(通称茶トレ)」なども紹介しつつ、わかりやすく説明をしました。